



東洋医学公益講座

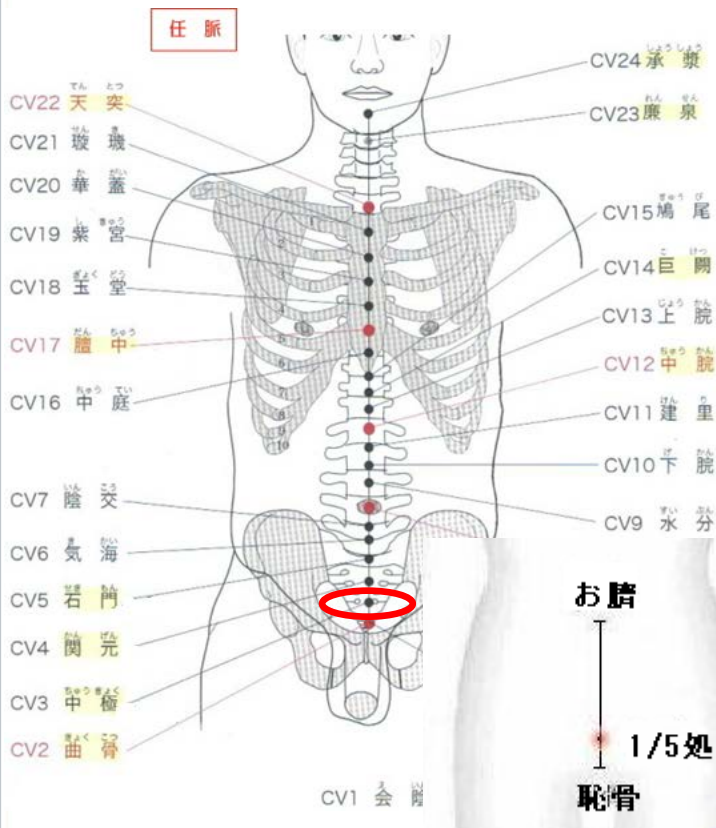
第47回

- ✓ 講師：羅 予澤
- ✓ 提供：未病予防協会
- ✓ 協賛：(株)ベンチャーバンク

先人の智慧、後世の階段

任脈の経穴 中極～関元

任脈の経穴 第3番目の穴 中極



膀胱と任脈とを繋ぐツボ

膀胱の募穴

膀胱の気が集まるところ

頻尿、閉尿、尿漏など
膀胱に関する治療に使う

尿の色から氣を診る

✓ 白（無色透明）＝ 寒
寒邪、寒氣が溜まっている

✓ 黄色 ＝ 熱
色が濃いほど体内に熱が溜まっている

✓ 赤 ＝ 熱・血尿



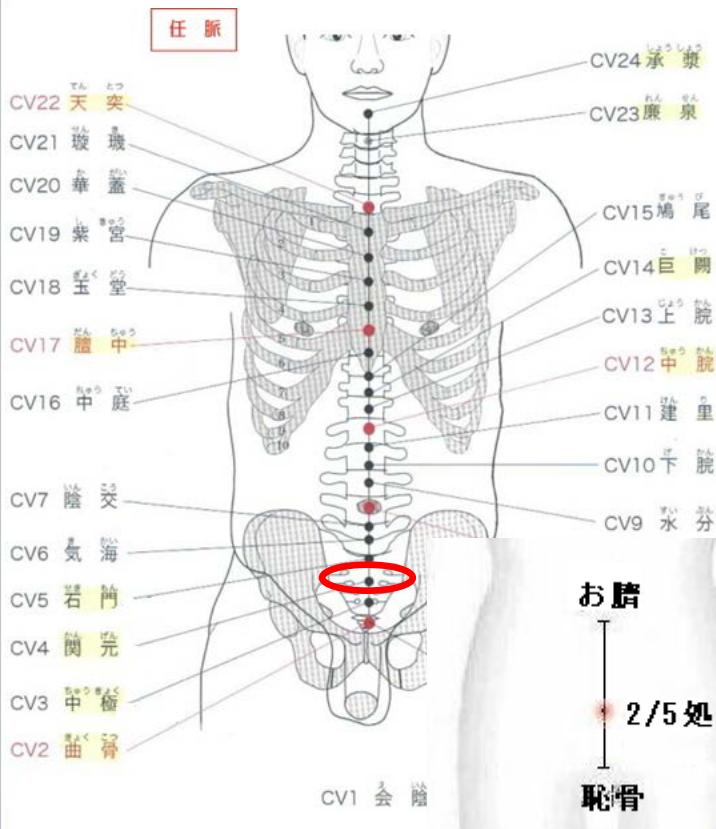
炎症治療に対する東西医学の違い

例えば…膀胱炎・腎盂炎

膀胱の周りや中に熱が籠っている状態

- ✓ 東洋医学： 滞りを解消し、気血水の
流れを良くして熱を冷ます
- ✓ 西洋医学： 籠った熱を下げる為に
消炎解熱の薬を用いる

任脈の経穴 第4番目の穴 関元



小腸と任脈とを繋ぐツボ

小腸の募穴

小腸の気が集まるところ

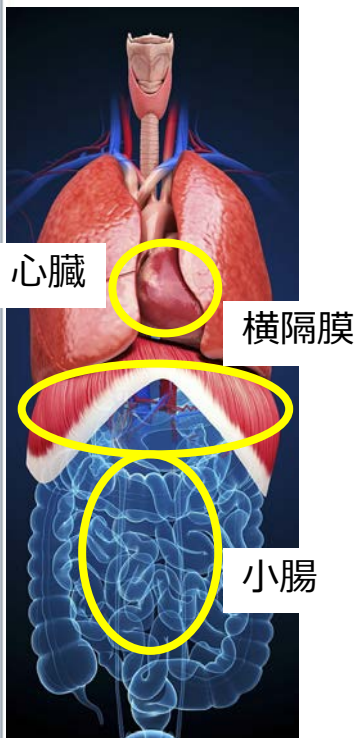
下痢、腹痛、腹の冷え、
小腸に関わる症状や
心臓の病気に使う

小腸経と心経 表裏の関係

心臓が体のエンジン、
動くたびに熱が作られる

呼吸の際の横隔膜の上下運動で
心臓で作った熱が胃腸へ送られる

その熱を使い胃や小腸で
栄養素を消化吸収



小腸の温もりは健康の源

小腸が暖かければ・・・

食事から得た栄養素を消化吸收する
能力が高まり、エネルギー代謝がよい

心臓から熱を貰って温かい
＝ 小腸の正常な状態



呼吸と消化の関係

呼吸が浅い = 横隔膜の動きが悪い

- 心臓で作られた熱が胃腸に届かない
- 胃や腸全体の温度が下がる
- 消化吸収の活動が低下する

小腸の冷えは万病の元！

例えば…便秘



小腸の冷え = 小腸の活動が低下
→ 大腸の温度低 = 大腸の活動が低下
→ 便を押し出すパワー不足

冷えた小腸の養生法
関元にお灸



下腹部の冷えは小腸次第

小腸の温度が低い ⇒
周りの臓器を温める力が不足

下腹部に冷たい水や血液、老廃物が溜まる

不妊、子宮筋腫・卵巣脳腫の原因になる
⇒ 治療の前提は腹部を温めること

心臓病の救急救命に有効



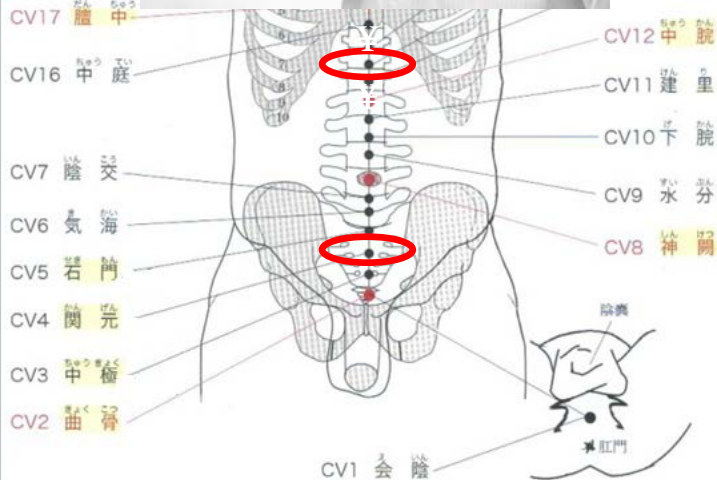
小腸と心は表裏の関係

巨闕（心の募穴）

+

関元（膀胱の募穴）

心臓病の救急救命に有効



婦人科疾患と小腸

- ✓ 経血の量が多い
- ✓ 1か月に何度も生理がある
- ✓ だらだらと生理が長引く



お腹の冷え・小腸の温度が低い
冬に水道管が破裂するのと同じ

不妊を招く環境

小腸の温度が低い = 子宮の温度も低い

冷えた子宮

血流が悪く受精卵にとって居心地が悪い

温かな子宮

血流が良いので受精卵が着床できる

